

都心・三宮の再整備に積極配分

都心・三宮再整備の主な主要施策

- ・都心・三宮の再整備（209億1,700万円）
 - ・雲井通5丁目再整備
 - ・新たなバスターミナル整備
 - ・新・神戸文化ホールの整備
 - ・新三宮図書館の整備
 - ・三宮クロススクエアの実現に向けた整備
 - ・三宮駅周辺歩行者デッキの整備
 - ・市役所2号館の再整備
 - ・生田川右岸線の機能強化
 - ・元町駅周辺の魅力向上
- ・ウォーターフロント地区の魅力向上（46億8,700円）
 - ・ウォーターフロント地区の再整備（神戸アリーナ）
 - ・ウォーターフロントのにぎわいづくり
- ・神戸空港の国際化への対応（184億9,300万円）
 - ・サブターミナル建設を含む機能強化
 - ・交通アクセス強化



能登半島地震・石川県珠洲市に500万円寄付

振替払込請求書受領証



本年1月1日、能登半島沖でマグニチュード7.6の地震が発生しました。お亡くなりになられた方々に対し心よりご冥福を申し上げます。この度、日本維新の会 神戸市会議員団は、自らの議員報酬から捻出し総額500万円を、災害義援金として石川県珠洲市へ寄付を行いました。神戸市からも、職員が多数派遣されており、同じ被災地であった神戸市選出の議員としても、引き続き支援を行って参ります。

子育て支援に予算増額

維新会派から要望しておりました、子育て支援予算が増額されました

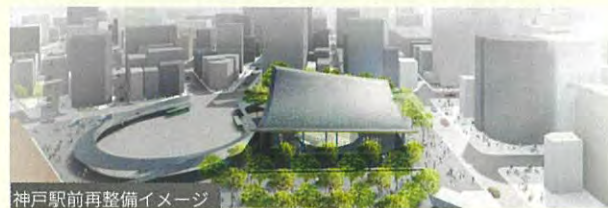
主な施策（一部）

- ・こべっこウェルカム定期便の開始
 - 0歳児世帯に月1回育児用品等を配達
 - 配達に合わせて声掛けや支援情報の提供など見守りを実施
- ・学童保育の充実
- ・中学校給食の全員喫食の実施
 - 中央区は令和6年10月までに完了予定
- ・神戸高専（1～3年生）の授業料負担軽減
- ・高校生等の通学定期補助の大幅拡充

中央区関連予算

主な施策（一部）

- ・花隈駅周辺における自転車放置禁止区域の拡大と無料駐輪場の有料化
- ・路上喫煙対策として屋内型喫煙所整備補助
- ・ポートライナー三宮駅ホーム拡張
- ・神戸駅前再整備
 - 駅前広場・周辺道路再整備、駐輪場の整備



連絡先

日本維新の会市会議員団控室

〒650-0011

兵庫県神戸市中央区加納町6丁目5-1
神戸市役所1号館29階

☎ 078-271-0185

神戸中央山手広聴事務所

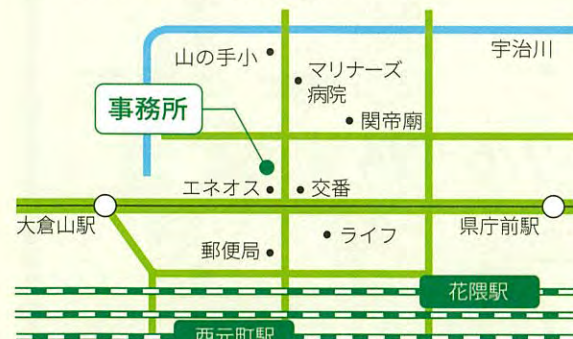
〒650-0011

兵庫県神戸市中央区中山手通7-20-20
エルムハイツ101

✉ nomachi.hyogo@gmail.com



📍 お問い合わせ



市政報告 2号 のまち 主一 けい



令和6年3月5日予算特別委員会

防災関連の質問

質問 01

災害時のドローンの活用について

令和5年9月決算特別委員会

のまち

ドローンが非常に災害に使えるというのは、皆さんもう周知のことだと思います、消防局も導入されているかと思いますが、その導入後の活動実績と、また、今後のドローンの活用の幅がさらに広がっていくと思われる消防防災において、どのような場面において活用しているか考えているかをお伺いします。また、災害時の各局間の協力関係はどうなっていますか？



防災訓練時のデモンストレーション

消防局

活動実績：令和2年4月から令和5年8月まで、消防局は38件のドローン活動を実施しました。これには火災現場での活動が最も多く、山岳救助、水難救助、土砂災害、特殊災害なども含まれています。

技術研究：消防局は民間事業者や防災科学研究所と連携し、ドローン画像処理技術を活用しています。特にオルソ画像処理により、被害状況の確認を行っています。

連携と訓練：神戸市内の他部局（企画調整局、建設局、港湾局、北区役所）もドローンを保有しており、情報共有と合同訓練を実施しています。大規模災害時には連携を強化し、迅速な対応を目指しています。

危機管理室

平成29年3月に民間事業者と協定を結び、災害時における無人航空機（ドローン）の運用体制を整備しています。災害発生時には各部局が被害状況の確認を行い、必要に応じて危機管理室から情報提供を受ける体制を整えています。大規模災害時には協定事業者からドローンを派遣し、情報収集や避難呼びかけなどを行います。

令和5年は建設防災委員会に所属しています

市政報告会を開催

4月15日(月)
19:00~20:00

こうべまちづくり会館
(元町通 4-2-14)
6階 会議室1

申し込みはこちらから→



建設局
(道路・下水・王子動物園)



水道局



消防局
(消防・救急・防災)



危機管理室

令和6年度予算特別委員会 局別審査

令和6年度神戸市当初予算案及び
関連議案に関し、分科会
に別れて、各局ごとの審査
を行います。

神戸市会議員
黒田武志
議事録抜粋

港湾局

令和6年3月1日

子供をキーワードに 空港島のぎわいを創出

■質問：黒田武志…空港をテーマとして子供が集い遊べる空間を創出してはどうか。周辺エリアへの民間投資の誘発、そして、人材不足が課題となっている航空業界の人材育成確保にもつながるのではないかな。

■答弁…子供が集い遊べる空港島のまちづくりという観点は、非常に重要だと思います。現在、戦略的な空港島の将来像を検討していますが、その中でしっかりと検討してまいります。

神戸空港の駐車場について

■質問：黒田武志…現状においても満車となる日があります。2025年の国際チャーター便の運用開始、国内線の発着枠拡大による利用増にも確実に対応できるように整備を進めていく必要がある。ターミナル北側駐車場を立体駐車場に整備することを検討すべきと考えますが、ご見解を伺います。

■答弁…駐車場は今後さらに、不足すると考えています。ターミナル東側に新たに400台分整備し、2025年春までに、全体として約3,000台分確保するという動きで動いています。立体駐車場化は有効な手段だと思います。

ウオーターフロントエリアへの誘客

▶神戸海軍操練所遺構の活用

■質問：黒田武志…神戸港開港以前にあった海軍操練所の遺構が発見されました。この遺構が発見される以前から、海軍操練所の跡地を含む神戸港の歴史を生かした仕掛けづくりが必要であると提案していましたが、ますますその必要性が増したのではないのでしょうか。

■答弁…今回の発掘調査で発見された遺構は、江戸時代海軍操練所の石垣築堤や明治時代の神戸港の第1波止場の信号所や防波堤です。幕末から近代港湾都市へと発展した神戸港の歴史を物語る重要な遺構です。適切な保存、活用方法について、検討を進めたい。

■要望：黒田武志…神戸だけではなく、日本全体にとっても大きな歴史的意義があります。ウオーターフロントへの玄関口として、施設を整備していただきたい。

昨年の予算特別委員会で提案した、中突堤周辺道路や緑地整備の検討が令和6年度予算に盛り込まれており、期待感を抱いています。

中突堤整備イメージ図→

※上記の他…●神戸空港の国際化に向けた兵庫県との連携強化について●神戸空港国際化を見据えた海上ルートによる誘客について●クルーズ客船寄港時のシャトルバス活用…等について質問いたしました。

経済観光局 令和6年3月4日

神戸ルミナリエ会場への キッチンカー出店支援について

■質問：黒田武志…ルミナリエは神戸を代表するイベントであるため、神戸産の農産物を活用したキッチンカーの出店をより積極的に進めていただきたい。西区・北区のイチゴなどのスイーツ、須磨のノリ、灘の酒、神戸ワインのブースなど、より深く神戸を感じられる運営をしてはどうか。ルミナリエに会場することで知った食事や食材に再び出会うために神戸を再訪することで、ブランディング向上と経済効果が期待できるのではないかな。

■答弁…市内事業者とも連携しながら、神戸の食事や食材をPRし、再び神戸を訪れていただくことで経済効果を拡大していく。そうつながるように取り組んでまいります。

▶学園都市のユニバードームでも

■質問：黒田武志…学園都市駅前のにぎわい施設であるユニバードームがありますが有効活用されてない。キッチンカー事業を展開し、地域全体に活気をもたらしたい。見解を伺います。

■答弁…周辺に商業施設セリオがあり、配慮が必要。ただ、そういった調整をしながらも、キッチンカーで活性化につなげていくことは非常に重要だ。エリアの活性化に貢献していきたい。

東南アジアとの連携強化について

■質問：黒田武志…成果を上げていくためには、神戸経済との親和性をしっかりと分析し、戦略を進めていくことが重要である。産業協力や施策展開を通じて相互の強みを最大限活かし、双方が持続可能な関係を構築していただきたい。いかがでしょうか。

■答弁…JETROシンガポールに職員を派遣することが内定している。例えばシンガポールは金融のフィンテック、あるいは食のフードテック、新エネルギーに係るスタートアップなども集積しており、参入余地もあるのではないかな。神戸の企業の状況をしっかりと認識した上で、ASEANとのビジネス交流を進め、将来的な広がりを見据えた調査を進めていきたい。

※上記の他…●第29回神戸ルミナリエの総括●観光誘客の推進について●神戸市中央卸売市場本場の再整備について…等について質問いたしました。



日本維新の会神戸市会議員団 市政報告

編集・発行 日本維新の会神戸市会議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1
TEL(078)322-0185 FAX(078)322-0184 https://kobe-ishin.jp/ info@kobe-ishin.jp

日本維新の会神戸市会議員団政調会長

神戸市会議員 黒田武志
くろだ たけし 西区選出

黒田武志

会派を代表し、本会議場で一般質問を行う
神戸市会議員 黒田武志

特集

令和5年第3回定例会市会において、日本維新の会神戸市会議員団を代表し、一般質問を行いました。ウラ面に議事録(抜粋)を掲載いたしました。ぜひ、ご覧ください。

1 神戸国際ターミナルを視察

MOL(商船三井グループ)さんから、施設のご案内と現況のご説明をいただきました。神戸港が神戸市にもたらす所得創出効果(経済効果)は年間1.5兆円(全体の33%)。神戸港に関わる市内の就業者数は19.1万人(全体の26%)におよび、**神戸港の発展は、神戸の経済・産業を支える上で極めて重要**です。これまでの実務経験を活かし、世界の戦略港湾から学び、神戸港の発展に一層寄与してまいります。



2 神戸海軍操練所の遺構を視察

ウオーターフロントエリアの再開発事業に伴い**発掘調査を行った結果、石造りの築堤や、石積み防波堤を発見**。絵図などの資料により、元治元(1864)年に江戸幕府によって設置された**神戸海軍操練所の跡地と推測**されています。勝海舟さんや坂本龍馬さんが神戸で活躍した貴重な歴史遺産を適切に保存・活用し、後世に伝えていくための取り組みを関係部局と協議しながら進めてまいります。



3 コベルコ神戸スティーラーズが 神戸市を表敬訪問

ラグビーワールドカップ2023フランスに日本代表として活躍された、具智元選手、サウマキアマナキ選手、山中亮平選手、李承信選手をはじめ、ダイブヘッドコーチ、福本チームディレクター、水上ラグビーセンター長も来庁されました。



令和6年度 神戸市の予算

総額：1兆9,270億円(前年比：+77億円)

●一般会計：9,057億円(前年比：+263億円)

福祉、教育、道路・公園の整備など、市の基本的な事業を行う会計です。

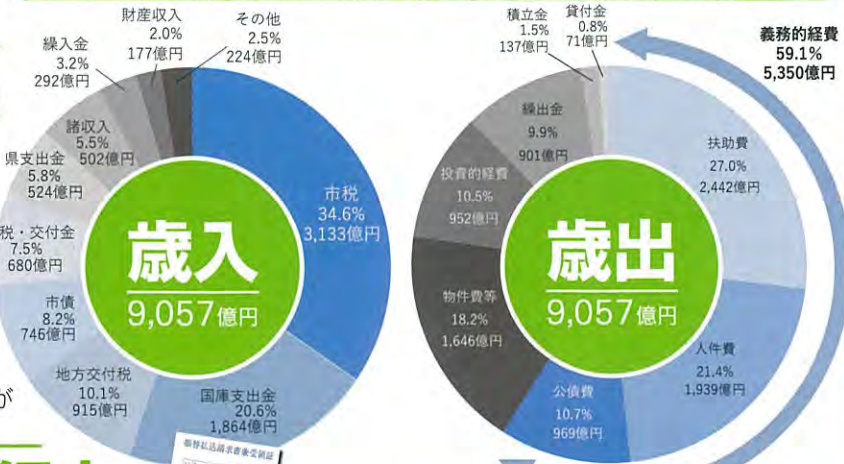
●特別会計：6,711億円(前年比：-92億円)

国民健康保険や介護保険、市営住宅など、特定の収入で行う事業の会計です。

●企業会計：3,502億円(前年比：+218億円)

バスや地下鉄、上下水道など、主に利用者みなさんが支払う料金収入等で行う事業の会計です。

一般会計予算の概要



身を切る改革継続実行中。 能登半島地震への支援

日本維新の会神戸市会議員団は、議員報酬から捻出した総額500万円(議員一人あたり373,860円)を、災害義援金として石川県珠洲市に寄付しました。

※本予算案は議会での議決を経て成立した上で、実施されます。

被災地から神戸市へ避難した方へ
神戸市で避難者情報の登録をすると、神戸市での生活に必要な支援や相談等を受けることができます。登録方法など詳しくご案内しています。



黒田武志の 議会での発言 【議事録抜粋】



令和5年第3回定例会 日本維新の会神戸市会議員団を代表し 一般質問を行いました

1. 神戸の特色を生かした 経済発展と観光施策について

■質問：黒田武志

兵庫県と阪神・淡路ベイエリアの7市が「兵庫圏域の大阪湾ベイエリア活性化基本方針」を策定しました。

神戸空港の国際化を見据え、大阪や京都にはない強みを発揮するため、この基本方針を市としてどのように推進していくのか、お伺いします。

■答弁：久元市長

兵庫県や各地域と広域的に連携し、神戸以西の需要開拓、瀬戸内方面などへの新たな海上交通の充実など、大阪や京都にはない強みを生かした、兵庫圏域のベイエリア全体の新たな魅力の創出につなげたい。

■質問：黒田武志

本年の決算特別委員会において、神戸空港国際化を見据えた海上ルートによる誘客について、改めて質疑いたしました。その際、実証事業として、海外旅行会社や海外メディアを招待し、意見交換する予定であるとの答弁でした。評価はどのようなものであったのか、それを受け、市として今後の展望をどのように考えているのか、お伺いします。

■答弁：今西副市長

2023年10月、マレーシア、シンガポール、ベトナムから旅行会社やメディアの方にお越しをいただき、神戸空港～須磨～淡路島の海上周遊。ウォーターフロント、須磨シーワールド（2024年6月開業予定）、淡路島の観光ツアーを組み合わせた実証事業を行い、好評でした。

今後は特に、須磨・淡路島方面へのチャーター船による周遊やサンセットクルーズなど、関係者へのヒアリングを進め、神戸の新たな魅力創出につなげたい。

■質問：黒田武志

新神戸駅前再整備が計画され、駅構内に神戸登山支援

拠点のトレイルステーション神戸が開設されるなど、魅力向上が図られています。その一方で、新神戸駅から布引の滝の間には、明治時代に建てられた布引水源地水道施設である砂子橋（重要文化財指定）がありますが、観光スポットとして認知されていません。

その他にも市内の地域各所に歴史的価値のある建造物や景観、民俗芸能などが埋もれており、それをどのように活用して、観光施策や地域活性化策を進めていくのか。見解をお伺いします。

■答弁：今西副市長

砂子橋を含む水道施設の歴史的価値やストーリーに焦点を当てて情報発信を行うことは、誘客に効果があると考えています。また、歴史的価値のある建造物や地域に根差した民俗芸能などが持つ価値やストーリーを発掘し、人を呼び込めるように取り組みたい。

この質問の後で…

ハイキングの起点となる砂子橋（いさごばし）のライトアップ、布引の滝までの登山道の照明を整備する補正予算が付きましました。引き続き、神戸登山の魅力向上を推進していきます。



2. 神戸農業振興地域整備計画と 里山・農村エリアへの 移住促進施策について

■質問：黒田武志

現在、神戸農業振興地域整備計画の総合見直し実施方針（案）に係る意見募集を実施しています。今回の見直しを、里山・農村エリアにおける人口減少対策として移住促進施策に活かすべきと考えますが、見解をお伺いします。

■答弁：久元市長

現在、農村地域への移住促進のために、ワンストップ窓口をつくっており、その状況については、市長・副市長会議でも報告を受けました。今回の見直しが農村地域への移住促進につながるように周知・徹底を行い、また情報発信を行って、成果が生まれるように取り組む。

■質問：黒田武志

現在、神戸・里山暮らし空き家バンクに登録されている空き家は25件。その中で、ウェブサイトに掲載されているのは2件。そして、移住に関する問合せ件数は400件で、そのうち、面談に至った件数は300件にとどまっています。潜在的需要に十分対応できていないのではないかと。まずは移住希望者用の空き家確保に努めるべきと考えますが、いかがでしょうか。

■答弁：今西副市長

農村地域での空き家の確保は、空き家おこし協力隊の活動が最も効果的と考えている。活動強化に向け、定期的な意見交換の開催、マニュアルの整備などを実施したい。

■要望：黒田武志

神戸市は大都市でありながら、市街地から近い場所に里山・農村エリアがあるという強みがあります。地域の魅力を最大限に引き出し、移住者と地元住民との交流を促進する環境を整えることで、全体の発展に寄与できるよう推進していただきたい。

神戸・里山ぐらしとは…

人口150万人都市の神戸にも、北区や西区を中心に、豊かな農村地域が広がり、豊かな自然や農地に囲まれながらも、都市的で便利な生活、すなわち、神戸ならではの“里山暮らし”を送ることができます。



3. 学園都市駅前の活性化について

■質問：黒田武志

学園都市駅前にあるユニバードームは、ユニバーシアード神戸大会（1985）の表彰式やイベント広場として使われた歴史があり、まちのシンボルとなっています。現在でも年に数回、イベント会場として活用されていますが、十分に活用し切れていないと言え難い状況です。

また、5大学1高専が運営する大学共同利用施設UNITYが、令和6年3月末をもって閉館され、施設が市に返還されると通知がありました。これらの貴重な市の資産をより積極的に活用していくべきと考えますが、今後の取り組みについて伺います。

■答弁：今西副市長

ドームの利用がさらに促進されるよう、周辺の大学などと連携し、学生にも活用策の企画・立案に参画いただくようなことも検討している。また、UNITY施設の活用につきましては、学園都市が持つまちのポテンシャル・魅力を最大限に引き出すよう、検討を進めたい。



の皆さんは、本格運行が安定して継続できるように、あらゆる努力をされています。

民間活力の活用や周辺の5大学等と連携を深めつつ、市民の外出機会を促しながら、学園都市の地域特性に合った活性化策を図っていくべきと考えますが、いかがでしょうか。

■答弁：今西副市長

学園都市駅前の活性化に向け、駅前空間を利用したい人たちに広くPRすることで、新たな利用を掘り起こし、いつ訪れても楽しいイベントや取り組みが行われているという場になります

ように、仕掛けづくりの検討を進めている。駅前を活性化することで、駅周辺へ出向く機会を増やし、地域住民と学生らの交流促進につなげたい。

この質問の後で…

神戸市と神戶外大が継承する語学講座の継続と、要望していたコワーキングスペース（無料の一時保育施設）の設置も実現しました。

UNITYの教室→



4. 伊川谷駅前の再整備について

■質問：黒田武志

現在、伊川谷駅前には、パーク＆ライド駐車場やホームセンターがありますが、今後の駅前エリアの土地利用として、分譲マンションによる住宅供給を進めていくと聞いています。区域内で一定規模の集合住宅という新たな機能を追加するのであれば、パーク＆ライド機能の維持のために、周辺農地の利活用を含め、検討を進めていただきたい。柔軟で幅広いアイデアを取り入れた再整備につながるのではないかと。

■答弁：城南交通局長

周辺農地をパーク＆ライドの代替地として活用することについて、農振法や農地法なども確認しながら検討・調整を進めていくことで、伊川谷エリアの活性化に向けて着実に取り組みたい。

■質問：黒田武志

住宅供給に当たっては、セットで生活圏内の住環境を整備していく必要があります。昨年3月、予算特別委員会において質疑した際には、スーパー等を含めて商業施設の誘致を検討するとの答弁がありました。今後の事業者公募に向けて、新たな住民だけではなく、地元住民や駅利用者、そして交通利用者にとっても魅力的で利便性の高い商業機能として、**スーパーの誘致を実現**していただきたいと考えます。改めて見解をお伺いします。

■答弁：城南交通局長

現在検討を進めている伊川谷駅前の活性化につながる住宅供給及び商業施設の事業者公募におきましては、御意見を踏まえて進めたい。



日本維新の会 神戸市会議員団 政調会長

神戸市会議員 西区選出

くろだ たけし
黒田武志

市政改革 政策実現の先頭に!!

令和5年第3回定例会で
質問する黒田武志

神戸に活力!! 北区に全力!!



日本維新の会

神戸市政報告 2024.3

山本のりかず

通信 Vol.13

発行元：日本維新の会 神戸市会議員団
〒650-8570
神戸市中央区加納町6-5-1 1号館29階
TEL：078-322-0185
FAX：078-322-0184
E-mail：info@kobe-ishin.jp
https://kobe-ishin.jp



変革を恐れずにチャレンジしていく神戸へ!

提案1 神戸経済の活性化と民間活力の導入 **実現中**

提案2 議員報酬・議員定数削減と
政務活動費の情報公開を徹底 **実現**
(議員報酬は未実現)

提案3 子育て世代への支援と教育の充実 **実現中**

提案4 地域包括ケアシステムの構築と
高齢者・障がい者福祉の充実 **実現中**

提案5 兵庫県と神戸市の二重行政解消 **実現中**

生まれた環境や親の経済的格差に左右されずに、 子どもたちを支援できる体制へ!

令和6年 予算特別委員会

●子ども家庭局●

子育て世帯の負担軽減策としてサブスクリプションを提案!

【山本のりかず議員】

こべっこウェルカム定期便については、経済的負担軽減に見守り機能も付加した政策として評価している。昨年の本会議で保育所等におむつを配布してはどうかと提案したが、保護者の希望するブランドが利用できないという懸念もあるとの答弁だった。財政的に配布が難しく、運営体制的に全園が難しいのであれば、まずは公立保育所でおむつやおしりふきなどのサブスクリプションを行ってはどうか。



【岩城副局長】

おむつのサブスクを含め、保育サービスの充実については公民あわせて市全体で取り組む必要があり、既に実施している他都市や民間園での導入状況、課題等の把握に努め、保護者の声も聞きながら研究していく必要があると考えている。

【山本のりかず議員】

他都市に目を向ければ、東京都江東区が一部の保育所にて「手ぶら登園」という名称でおむつやおしりふきなどのサブスクリプションを導入している。神戸市においてこの政策が実現すれば、保護者がおむつに名前を記入して保育園に通うことや、保育士が各園児によっておむつを管理把握する業務負担から解放され、保護者の負担や保育士の職場改善にもつながることが想定される。他都市の状況も踏まえ、調査研究していただきたい。

母子保健情報のデジタル化を提案!

【山本のりかず議員】

国において、マイナンバーを活用した母子保健情報のデジタル化が進められており、神戸市においても妊婦健康診査受診券等の記載項目の見直しなど、一定の見直しが進められていると聞いている。市民サービス向上の観点より、積極的な取り組みが必要と考えるが、今後の方針について考えをお聞かせいただきたい。

【丸山副局長】

国において、母子保健情報について令和8年度以降の実現を目指し、課題整理のための実証事業が始められたところである。本市としては、国の動きを注視しながら、引き続き必要なデータの収集を行うとともに、国からの指針が示されたときにはスムーズにデジタル化に移行できるように準備を進めていきたいと考えている。

困難な状況にある子どもの支援にふるさと納税の活用を提案!

【山本のりかず議員】

ふるさと納税の寄附の使い道として、「児童養護施設等で暮らす子どもたちの応援」「困難な状況に置かれた子どもたちに食の支援」が選択可能と聞いている。市民の関心が高く、今年度はそれぞれ2億円程度の寄付額が見込まれ、1億円程度は事業に活用可能である。具体的にどのような事業に利用されるのか。また、経済的な困難な状況にある子どもたちの支援にどう繋がるのか、考えをお聞かせいただきたい。



【中山局長】

ふるさと納税を活用した取り組みとしては、令和4年度から児童養護施設を退所した児童向けの自立支援を行っており、自立に繋がっていると考えている。また、令和4年度からは生活が厳しい状況にある子育て世帯を対象に、食品等の提供をきっかけとした、地域や行政等の支援機関への繋がり支援に取り組んでいる。引き続き一人でも多くの子育て世帯、神戸市内の児童養護施設等で暮らす子どもたちへの支援充実に努めていきたいと考えている。

PROFILE

山本のりかず (神戸市北区出身)

■神戸市立鈴蘭台北町保育園～神戸市立山田小学校～私立甲南中高等学校～国立滋賀大学経済学部卒～民間企業～日本維新の会職員～神戸市会議員3期目(連続当選)
■一般社団法人代表
■関西学院大学アントレプレナーシップ課程修了
■家族構成：妻、子ども2人
■経済港湾委員長(神戸市会)
■党紀委員長(兵庫維新の会執行役員)



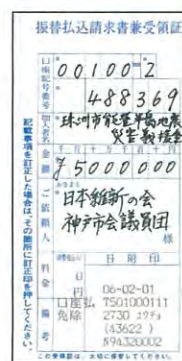
石川県珠洲市に 災害義援金500万円を 寄付しました!

日本維新の会 神戸市会議員団は、能登半島地震災害義援金として、神戸市のカウンターパートである石川県珠洲市へ500万円を寄付いたしました。

〈身を切る改革〉

徹底した行政改革を目指し、まずは、政治家自らが身を切る!

身を切る改革は、日本維新の会神戸市会議員団が市民に約束した最重要事項です。公約である議員報酬2割削減の実現に向けて、引き続き率先垂範してまいります。



寄付の状況は▲こちら

料金受取人払郵便

神戸中央局
承認
6468

差出有効期間
令和7年11月
14日まで
(切手不要)

650-8570 924

日本維新の会
神戸市会議員団 行

神戸市中央区加納町6丁目
5番1号 1号館29階

日本維新の会 神戸市会議員団へのご意見やご提案をお書きください。

政策提案と実行力で神戸の成長を推進！

令和6年 予算特別委員会

●港湾局●

神戸港の国際競争力強化に向けた輸送ルートの構築を提案！

【山本のりかず議員】

神戸港においては、地方港と結ぶ国際フィーダー航路に対する支援など、瀬戸内・九州・日本海側からの集貨に注力してきた結果、航路が拡充されるとともに、国際フィーダー貨物も増加するなど、国内からの集貨については、一定の成果が出ている。一方で国外からの集貨は、コンテナ取扱貨物量に占める国際トランシップ貨物量の割合が依然として低い状況にある。国土交通省の「新しい国際コンテナ戦略港湾政策の進め方検討委員会の最終とりまとめ」でも示されているが、他のアジア主要港との競争が可能な北米・中南米地域向けの貨物を中心とした、東南アジア等からの広域集貨に向けた輸送ルートの構築が必要と考える。そこで、東南アジアからの集貨をについてどのように考えているのか確認したい。



【松本技術担当副局長】

東南アジアの集貨に関して、昨年11月にはベトナムのハイフォンを訪問し、国際トランシップ貨物の獲得を目的としたセミナーを開催して現地の日系物流企業などへのポートセールスを実施した。また、阪神国際港湾株式会社においては、阪神港で培った技術を生かした国際貢献を目的に、平成30年にカンボジアのシアヌークビル港に出資しており、令和5年3月に双方のトップが現地と神戸にて集貨の取り組みを含めた情報交換を行っている。引き続き、シアヌークビルを始めマレーシアのポートクラン港や東南アジアのMOU締結港とのネットワークを最大限に生かしながら東南アジアの集貨できるように取り組んでいきたいと考えている。



視察報告（神戸市内）

◆海軍操練所跡地を視察



◆ポートアイランド第2期のコンテナターミナルを視察



北区や神戸市での新規政策実現！

◆子育て関連事項

直近10年間の子育て予算金額が約1.5倍に増加！

	当初予算額
H26	93,041,937,000
H27	101,076,283,000
H28	103,670,256,000
H29	109,010,006,000

	当初予算額
H30	111,239,358,000
H31	117,218,877,000
R2	127,240,192,000
R3	131,715,611,000

	当初予算額
R4	127,777,722,000
R5	126,546,602,000
R6	134,367,186,000

◆こべっこウェルカム定期便

子どもが生まれた世帯を対象に、月に1回おむつやミルク等の育児用品を配達し、配達に合わせて声掛けや支援情報の提供等を含めた見守りを実施。

※令和6年秋以降に、計10回配達（1回目は1万円相当、2～10回目は3,000円相当）



◆高校生など通学定期券補助の拡充

子育て世帯の家計負担軽減と多様な教育環境を維持していくため、神戸市在住の高校生等が市内高校などに通う場合の通学定期代を令和6年9月より無料化。
※現行制度では年額14万4千円を超える通学定期代の2分の1を補助。

◆新北図書館、新北区文化センターの整備

体育施設を備えた新北区文化センターや新北図書館の令和8年度の供用開始に向けて、旧北区役所跡地の解体工事を進め、建設工事に着手。

◆北区の神戸電鉄駅周辺の再整備

有馬温泉駅、有馬口駅、唐櫃台駅、西鈴蘭台駅など（神戸電鉄）。



◆北部小児初期急病センター（仮称）が2024年4月に新規開設！

神戸市北区では、区内の子どもが怪我をした又は体調が悪くなった場合に診療する医療機関として、神戸こども初期急病センター（神戸市中央区）を利用する場合もありましたが、地域密着の医療機関として北区で受診可能となりました。

場 所：済生会兵庫県病院内（北区藤原台中町5-1-1）
電 話：078-987-2222
開設日時：木曜（19時～21時）、休日（9時～12時）

身のまわりについて困りごとがあればご相談ください！

神戸市の行政に関する意見や困りごとがあればメールまたは電話にてご連絡ください。例えば、道路が陥没していて危険だ！公園の管理が行き届いていない！子育ての支援について、こうして欲しい！障がい者の雇用が充実していない、などの要望があれば、ご自宅や地域の集会所、喫茶店などどこでも伺います。神戸に住んで良かったと思える地域にしていくために、皆さんの意見を行政や議会に届けます。神戸市民の皆さんとともに、安全・安心の街づくりを構築してまいります。



切り取ってポストにご投函いただくか、メールまたはFAXでお送りください。

連絡先

■日本維新の会 神戸市議員団：〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 1号館29階
TEL(078)322-0185 FAX(078)322-0184 メールアドレス:info@kobe-ishin.jp
http://www.kobe-ishin.jp



■山本のりかず広聴事務所：〒651-1243 神戸市北区山田町下谷上字梅木谷23番地16-208
TEL&FAX(078)907-5601

あなたのお考えに当てはまるところに○をつけてください

2024年5月に「神戸 2024 世界パラ陸上競技選手権大会」がユニバー記念競技場（神戸総合運動公園）で開催されることをご存知ですか？

①知っている ②知らなかった ③観戦予定である
④その他（ ）

2025年春に受け入れる国際チャーター便の就航と国内線増便に備えて神戸空港のサブターミナル建設を進めていることをご存知ですか？

①知っている ②知らなかった ③とても興味がある
④その他（ ）

神戸空港は2030年を目途に国際定期便の就航を予定しており、アジア路線を中心として神戸空港から海外に行けることをご存知ですか？

①知っている ②知らなかった ③とても興味がある
④その他（ ）

日本維新の会 神戸市議員団に期待する点は？（複数可）

①神戸経済の活性化 ②議会・市役所の改革
③教育・子育て環境の充実 ④健康福祉の充実
⑤市民サービスの向上 ⑥情報公開の徹底
⑦その他（ ）

あなたが住まいの地区の困りごとやご要望があれば自由にお書きください。
例）子育て支援、空家対策、支援の強化など

ふりがな	
お名前	
ご住所	
電話番号	
FAX番号	
メールアドレス	

市政報告

2024.04 vol. 29

日本維新の会
神戸市会議員団

神戸市会議員・須磨区選出



令和6年度新年度予算特別委員会より▲

すみもと 住本かずのり

ヤル気、元気、本気! すますみ便り

この度は元旦に発生した能登半島地震において犠牲になられた方々に対して心より哀悼の意を捧げますと共に、現在も避難されております方々については、1日でも早い復旧が叶いますようにお見舞い申し上げます。神戸市としても被災地早期復興に向けて職員派遣など取り組んでおります。私としても震災義援金に寄付させていただいております。

須磨区内においては、6月1日神戸須磨シーワールドがオープンして須磨海浜公園再整備が完了します。そして、8月には区役所北須磨支所が新築移転されます。その他でも区内では様々なイベントや取り組みが行われていますのでご紹介します。

石川県珠洲市義援金

35.7万円

(会派全体 500万円)

寄付させていただきました。

須磨区TOPICS

名谷「須磨パティオ」のリニューアルに おける新プロジェクトについて ～合言葉は「エブリディ、パティオ!」～

名谷活性化プランとして、全面リニューアルが進んでいる須磨パティオで新たなプロジェクトが発表されましたのでお知らせします。

- 1 親子でゆっくり
本と時間を楽しめる
「ブック&カフェフロア」の新設
健康館2階に書店とカフェが
併設されます。



- 2 待望のフードコートが登場!
3番館1階には、待望の
フードコートが新設されます。



- 3 「毎日違うお店!」
コミュニティ・シェアキッチン
2・3番館フードストリートの
一角にシェアキッチンを設置
します。副業や飲食店を始め
てみたい方の夢をサポートし
ます。(2024年夏募集予定)



- 4 地域と交流の場となる
チャレンジショップ
「Ole! PATIO」
(オーレ!パティオ)

可動式の
チャレンジ
ショップを
展開します。



リニューアルスケジュール

2024夏頃 (R6)	I期リニューアルオープン (健康館2階ほか)
2024冬頃 (R6)	II期先行オープン (1番館)
2025春頃 (R7)	II期グランドオープン (2～3番館・健康館1階)

東アジア初! 世界パラ陸上競技が神戸で開催!

2024.5.17 Fri. - 25 Sat. 神戸総合運動公園ユニバー記念競技場 (須磨区)

● 世界パラ陸上競技大会 ●

車いす、義足、視覚障がいなどの様々な障がいを持つ方の陸上競技の世界大会です。

同じ種目でも、障がいの種類とその程度によって細かく内容がクラス別に分けられて実施されます。例えば、100m競技でもクラス別に分けられ、2019年に実施された世界大会では男子17種類、女子15種類の実施がされました。約100の国から1300人が参加予定で、須磨区のユニバー陸上競技場で行われますので、皆さんで熱い戦いを応援しましょう。



ユニバー陸上競技場▲

須磨の海での真珠養殖について

昨年12月に「第1回Kobe SUMA PEAL浜揚げ体験・販売会」が開催されましたので参加しました。



すまうら水産有限責任事業組合が2017年から須磨の海でアコヤ貝を育てる試みを始めました。途中、赤潮が発生して全滅した年もありましたが6年が経過し、餌となるプランクトンが豊富な神戸の海でも順調に生育することがわかりました。真珠養殖が加工・販売まで一貫して行うことで品質管理にもこだわった商品の販売ができるようになりました。この度、神戸須磨発のブランド『Kobe SUMA PEAL』として販売会が開催されました。



販売会の様子▲

まだ様々な課題があると聞いておりますが、私も地元須磨ブランド確立のため応援していきます。

JR須磨海浜公園駅エスカレーター設置検討へ

私が以前質問 (2022.10.25、一般質問) した須磨海浜公園リニューアルに向けてのアクセス改善について、地元からの要望があったJR須磨海浜公園駅南側のエスカレーター設置検討に入ることになりました。

今年度に調査・設計、2025年度に着工予定です。

JR須磨海浜公園駅南口▶



敬老・福祉パスで地域コミュニティ交通が割引されます

新年度から、地域コミュニティ交通でも敬老・福祉パスお持ちの方は優待料金で利用できるようになります。須磨区内では前回の市政報告でお知らせした、西須磨コミュニティバス「はまちどり」が対象になります。



はまちどり▶

令和6年度 新年度予算特別委員会において予算質疑しました。

本委員会では、健康局、福祉局、環境局を会派代表して質疑しました。(一部抜粋)

予算特別委員会【健康局】質疑 令和6年2月28日

帯状疱疹※1 ワクチン接種 助成について

動画でみる



住本 質疑 令和4年9月の代表質疑において、我が会派より「帯状疱疹が増えているが、高額であることからワクチン接種をためらう方もいるので、ワクチン接種に対する費用助成を神戸市でも導入しないか」と質問した。このたび、兵庫県が令和6年度より帯状疱疹ワクチン接種助成事業を開始し、県下の市町が助成する場合に、助成額の1/2、上限2,000円を支給することが発表された。

本市としても兵庫県と連携し、帯状疱疹ワクチン接種助成を早急に開始すべきと考える。

保険 所長 帯状疱疹の発生を予防するワクチンには生ワクチン※2と不活化ワクチン※3の2種類がある。現在、予防接種法定上定期接種に位置付けられておらず、全額自己負担、任意接種となっている。この度、兵庫県より2種類のワクチン種類を問わず、1回に限り市町に補助することになった。期限は令和6年限りで、令和7年度以降は実施状況を踏まえ、対応を検討したい。本市でもできる限り早期に実施できるよう検討している。

Check! 帯状疱疹ワクチン接種補助が実施されることになりました! (令和6年4月1日より)

- 4,000円
- 助成回数 1回限り
- 50歳以上の神戸市民対象



※1 帯状疱疹 水ぼうそうと同じウイルスで発症し、水ぼうそうが治った後も体内に潜んでおりストレス等によって免疫機能が低下すると帯状疱疹として発症します。80歳までに3人に1人が発症すると言われています。

※2 生ワクチン 接種回数1回、7,000～10,000円程度 予防効果 約50～60% (1年目)

※3 不活化ワクチン 接種回数2回、40,000～60,000円程度 予防効果 約97%以上 (1年目)

予算特別委員会【福祉局】質疑 令和6年3月4日

精神障がい者への 支援について

動画でみる



住本 質疑 精神障がい者への入院者の支援については、病院内の所管が健康局であり、来年度からは市内精神科病院と連携して積極的な退院促進支援を行うと聞いている(退院促進コーディネーター設置)。福祉局としても健康局と連携強化して、精神障がい者の地域定着に向けた取り組みを強化すべきと考えるが。



福祉局での質疑 (令和6年3月4日)▲

副 局 長 各区の地域生活拠点に、令和4年度から地域支援員という職員を1名ずつ配置しており、地域移行または入院されている方については退院支援の促進について努めるとともに、これまでも精神障がい者の方については健康局と連携しながら支援に取り組んでいる。令和6年度からは、健康局で新たに精神科病院と連携した退院促進支援事業を行うことなのでより一層連携して、退院後の地域生活の安定のため支援していく。

住本 再質問 退院後の事については、退院促進コーディネーター(健康局)と病院内設置の地域連携室が連携して調整していくとのことだが、精神障がい者の地域定着には家族との協力は欠かせないため、「家族会」等からの声もしっかり聞くべきと考えるが。



福祉局での質疑 (令和6年3月4日)▲

副 局 長 家族の方のご意見は大事だということは重々承知である。現在、第7期障害者プランを作成している上で、当事者の方の団体、家族会の方にも参画いただいて具体的な意見をもっている。

令和5年 第3回定例会市会

令和5年10月24日

一般質問より



一般質問 (令和5年10月24日)▲

須磨多聞線の安全対策について

動画でみる



住本 質疑 須磨多聞線の西須磨工区について地域住民に對して2回説明会が開催された。その際、道路両端部分の安全対策については「警察と協議している」というだけで全く説明がなかったことから、参加者からは不安の声を聞いている。本来、こういった道路整備については安全対策とセットで説明されるべきものであり、安全対策は住民にとって非常に重要な問題である。再度、早期に安全対策に対する説明会を開催し、丁寧に説明の上で住民に理解を求めていくべきと考えるが、見解をお伺いしたい。

副 市 長 御指摘をいただきましたように、説明会では、須磨多聞線整備後に中央幹線を走行する一般車両や大型車両が増加することへの懸念や、これを踏まえた月見山本町2丁目交差点などの歩行者の安全確保に対する御意見・御要望をいただいたところである。改めて、安全対策について詳しく説明する場を設ける旨をお伝えしたところであり、この(昨年度)11月23日にその説明会を開催をしたいと考えているところである。

須磨多聞線の整備によって、新たな交差点ができ、また既存の交差点に接続することにより、交通の流れが大きく変わるため特に歩行者の安全対策は重要であるというふうに認識をしている。そのため、これまでも安全対策の検討及び関係者協議を進めてきているが、今後も継続をしていきたいと考えている。



市民の皆さまからのご意見・ご感想をお待ちしております

市政相談
受付中!

公式サイト

<http://www.k-sumi.jp>

Mail

suma@k-sumi.jp

住本かずのり
Facebook

住本かずのり



発行
日本維新の会 神戸市会議員団
〒650-8570
神戸市中央区加納町6丁目
5番1号1号館29階
TEL: 078-322-0185
FAX: 078-322-0184

神戸市須磨区支部
〒654-0051
神戸市須磨区月見山本町
2丁目6番15号
TEL: 078-735-8231
FAX: 078-735-8231



「決断と覚悟」全ては次世代のために!民間人パワーで市政改革推進!
神戸の未来のために!子供たちの未来のために!

神戸市会議員 (須磨区・6期目)

経済港湾委員会委員

大都市行財政制度に関する特別委員会委員

市会運営委員会委員

大井としひろ

全力
投球

編集・発行:日本維新の会 神戸市会議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市役所1号館29F TEL(078)322-0185 TEL(078)322-0184

令和6年第1回定例市会2月議会開催 期間(2月15日~3月26日)

須磨区民の皆様いつもお世話になります。日本維新の会神戸市会議員団の大井としひろです。令和6年第一回定例市会2月議会は、3月26日の一般質問を最後に閉会いたしました。今回の令和6年度予算市会では、予算特別委員会総括質疑を3月11日に会派を代表して久元市長以下執行部に対し、以下5点について代表質疑を行いました。

1人口減少と神戸経済の発展について 2高校生通学定期無償化について 3外郭団体等の役員報酬について 4中央卸売市場本場を活かした地域経済の活性化について 5境界知能にある生徒たちの理解促進と対策について 以下、質疑要旨です。



3月11日予算特別委員会総括質疑 令和6年度神戸市一般会計予算案について

1 人口減少と神戸経済の発展について

Q 大井としひろ委員

今日は3月11日、東日本大震災が発生して13年目となります。今なおふるさとに戻れない住民の皆様方におかれましては心よりお見舞いを申し上げます。

1月1日に能登半島地震が発生しました。亡くなられた皆様に哀悼の誠をささげ、心よりお悔やみ申し上げます。

避難所生活を余儀なくされておられます皆様には、一刻も早く普段の生活に戻れますよう、神戸の地からお祈り申し上げます。

神戸は、あの阪神・淡路大震災から30年を迎えます。能登の皆様方が普段の生活に戻るまで寄り添ってまいりますことをお誓いを申し上げます。

では最初に、人口減少と神戸経済の発展についてお伺いをいたします。人口戦略会議副議長の増田寛也氏による「消滅可能性都市から10年」と題したインタビュー記事を目にいたしました。そこには、「2014年の提言後も地方は縮み続け、この先仮に出生率が上昇しても、2040年に現役世代の人口が今の8割程度に減る社会の到来はもう避けられない。人口減社会への適用は、今後少なくとも2100年頃までやり続けなければならない。取組が遅くなれば遅くなるほど困難さが増す。これから数十年ほどの最も苦しい時期を乗り越えれば、次の若い世代が増えて、高齢化リスクも下がり、人口減少が穏やかになって正常化に向かう」と言われておられます。

これからの数十年の厳しい時代を乗り越えるため、神戸経済やまちの発展に有効な手段は何か。市長の御見解をお伺いしたいと思います。

A 久元 市長

大井議員から御指摘がありました人口戦略会議副議長の増田寛也日本郵政社長とは、つい最近もお会いをさせていただきました。郵便局との連携強化や、また今後の人口動向につきましているいろいろとお話を聞かせていただきました。

この人口戦略会議から1月に提言されました人口ビジョン2100では、歯どめのかかっていない少子化の流れに警鐘を鳴らし、人口減少のスピードを緩和させ、人口安定を目指す定常化戦略が1つ。もう1つが、経済社会システムを人口動態に適合させ、質的に強靱化を図る強靱化戦略を打ち出し、1人1人が豊かで幸福度が高い社会を築いていくといったことが言及をされております。



これらは、神戸2025ビジョンでお示しをしております人口減少のペースを少しでも抑制するという観点と、人口減少社会に適応するという観点の両輪で対応していくという基本的な考え方とも符合すると考えております。特に、人口ビジョン2100でも指摘されている若年世帯の所得向上と雇用改善が重要です。

都心・三宮の商業業務機能の集積、新産業の育成、市内企業の海外進出支援など、域内の産業振興や官民連携による投資促進を図ることで地域経済の好循環を生み出し、神戸経済の成長を促していくことが重要であると考えております。

現在は人口ビジョン2100にあるように、国・自治体、そして経済界などあらゆる主体がそれぞれの役割で課題に向き合い、多様で成長力のある未来を切り開いていくため、社会全体で立ち向かっていかなければなりません。

来年度本格化いたします次期基本計画策定に当たりまして、このような民間からの提言や今後の有識者との意見交換を踏まえ、神戸市が中長期的に取り組むべき方向性につきまして議論を深めていきたいと考えております。

Q (再質問) 大井としひろ委員

市長は、大阪の高校無償化により神戸市民の転出が加速すると危惧されておられますけれども、大阪と競争するのではなく、より広い視点から、関西経済圏とともに発展するという観点で取組を進めるべきではないのかと私は思っておりますけれども、その辺のところの御見解をお伺いしたいと思います。



A 久元 市長

今起きている事象というものをやはり真正面から見る必要があるのではないかと思います。社会動態としての若年層の転出超過の改善、これは極めて重要ですけれども、県外の自治体への流出としては大阪府への転出超過数が最も多い。そして、転出超過傾向が年々強まっているという状況にあります。年齢別では20代から30代での転出超過傾向が強く、この層は出産の多い年齢層でありまして、将来の人口動態にも影響をすることから危機感を従来から持っておりました。

こういう状況の中で、令和6年度から大阪府において高校無償化制度が実施されることによりまして、将来的な神戸市からの子育て世帯の流出や神戸市内の高等学校運営への影響が懸念されることから、令和6年度予算案では、市内高等学校に通う高校生の通学費用完全無償化を提案しているところであります。

大阪との関係であります、横浜や川崎市など東京圏の大都市とは異なり、関西圏における京都と大阪と神戸は、いずれも自立した経済圏を維持しております。この3市がそれぞれ切磋琢磨し、自らの経済圏をより強く持続可能なものとする 것을目指すことが関西経済全体に寄与するというふうに考えておりまして、今後とも官民連携による投資促進や消費喚起など、より雇用創出や市民所得向上を図り、神戸経済の成長を促していくことで関西経済全体の発展に寄与する姿勢で臨んでいきたいと考えております。

Q (再質問) 大井としひろ委員

さきの代表質疑で空き家対策について質疑をいたしましたところ、使える空き家・空き地は売却や賃貸、地域利用料などの活用を促

し、使えない空き家は解体し、土地の活用を促進するという基本方針の下で総合的な空き家・空き地対策を進めていくとの答弁がございました。

令和6年度予算を見ますと、建築家との協働による空き家活用促進に1億3,250万円、リフォームローン利子相当額支援に675万円、空き家地域利用・空き地活用応援制度に8,171万円、民間主導による空き家・空き地活用の促進に4,000万円など、空き家を有効利用することを前提とした予算案が多々ございます。

急速な人口減少時代を見据えたときに、特に地方においては不動産自体に対する需要が減少することが見込まれておりますけれども、空き家を有効利用するためのこれらの予算は本当に効果的なのか。このたびの予算で空き家を整備したとしても、近い将来、再び空き家になるのではないかと危惧をいたしますが、御見解をお伺いしたいと思います。

A 小原 副市長

神戸市では、空き家・空き地の活用を促進するため、使える空き家は売却や賃貸、地域利用などで活用し、使えない空き家は解体して土地の活用を進めています。建築家との協働による空き家活用事業や広報啓発、相談窓口の設置など、様々な取り組みが行われています。また、民間市場でも適切な流通を推進し、使えない空き家の解体支援も行っています。

Q (再質問) 大井としひろ委員

久元市長は、人口減少の抑制と人口減少社会への適応の観点を掲げておられますが、公共施設の今後の在り方なども含めた人口減少社会に対する準備・対策の必要性は理解しておりますけれども、市長の発言は前向きなものと感じられないとも思っております。

人口減少への対策は必要であります、教育、子育て、暮らしやすい環境整備を進め、人口を増やしていくことも両輪で最大限実行していくべきではないのかと思います。人口減少に抗う観点も含め、神戸の未来のために何ができるのか、そのために何に全力で取り組んでいこうとしているのかということについて積極的に発信すべきではないかと考えておりますけれども、御見解をお伺いしたいと思います。

A 久元 市長

人口減少時代にあっても神戸としてその状況にどう対応していくのかということをしかりと発信すべきだという御指摘と受け止めました。

神戸の政策の情報発信、あるいは広報、これらが不足しているということは、従来から御指摘をいただいたところでありまして、いろいろと庁内でもあるいは民間の方々の意見を聞いて情報発信については努めているところですが、大井委員の御指摘をしっかりと受け止めて、新年度においては、お認めいただいたきました予算をしっかりと迅速に、かつ効率的に執行できることで応えていきたいというふうに考えております。

一方で、多くの方々の意見を聞くということは大変重要です。これから本格化する次期基本計画の策定に当たりましては、市民の皆さんが未来の神戸に期待感を持てるような魅力ある将来像を描き、発信をしていくということが重要です。こういう観点から、多くの市民の皆さんと未来に向けた議論を深め、そして、若い世代の皆さんにも市政に参画をすることができているという実感を持っていただけるような取組も進めていきたいと存じます。



要望 大井としひろ委員

平成26年に日本創生会議が発表されましたレポートで、私の選挙区でございます須磨区が消滅可能性都市として指摘されました。10年前に指摘されました。以降、非常に須磨区の議員として危機感を持っております。そして、今なお現在進行形で消滅する方向に須磨は進んでいるんじゃないかと私は思っております。一番の問題点は、どのように抗っていくのかという点において、10年前からあまり変化が見られないということでもあります。昨年末にも大都市行財政制度に関する特別委員会に参考人としてお越しいただきました一橋大学の元副学長の辻先生とお話をいたしました。実は8年前にも大都市の特別委員会に、当時は一橋大学の副学長としてお越しになられてまして、私そのときの特別委員会の委員長でもございましたので、今回8年前と2度お話をすることがございました。当時は、2014年から2年後の16年に辻副学長お越しになられてまして、そして、私は須磨の選挙区の議員ですと、増田さんから消滅可能性都市と名指して指摘されました。大変危惧をいたしておりますというようなことを申しましたら、辻副学長は、「大井さん大丈夫です。日本では東京が独り勝ち、関西圏では大阪が独り勝ちする。しかし、兵庫県では神戸市が独り勝ちします。あんまり心配せんでも大丈夫です。ちゃんと整備をすれば人は集まってくる。」というようなことをおっしゃられました。しかし、10年たった今も、須磨の人口は急速に減少しております。より危機感を持っていたいて、この人口減少を享受するばかりでなく人口減少に抗う施策についても積極的に実施をしていただくよう、これは要望とさせていただきます。ぜひよろしくお願いいたします。

2 高校生通学定期無償化について**Q 大井としひろ委員**

令和6年度予算案において、神戸市在住の高校生等が市内高校等に通う際の定期券代を令和6年9月より無料化する予算が計上されました。その目的として、久元市長は、大阪府が高校授業料無償化をしたことに伴い、今後、本市から子育て世帯の流出や神戸市内の高等学校の運営に影響が出ることが懸念されることから、それを防ぐことにある旨述べられました。

大阪府における教育無償化は、人口流入を意図したのではなく、教育に係る経済的負担を撤廃し、誰もが努力次第で臨む教育を受けられる環境を整備することによって、個人の自己実現の後押しと人材の高度化を促進することを意図したものであります。もっとも、結果的に近隣自治体が人口流出という影響を受けるのであれば、教育無償化の均一化、すなわち教育の機会均等や経済的負担の撤廃を意図したものであり、給食費や授業料など全国的に無償化のステージが来たのではないかと考えます。

本市は、基礎自治体として神戸市内の高校等へ通う生徒数の減少を防ぎ、市内の高校の多様性、教育水準を維持するため高校生通学定期無償化を行うという判断に至った点は理解できますけれども、一方で、どれくらい神戸市内の高校等へ通う生徒数の減少を妨げているのかといった点は明らかにされておられません。

今回の高校生通学定期無償化については、施策決定過程にEBPMの観点から具体的にどのように反映されているのか御見解をお伺いしたいと思います。

**A 小原 副市長**

神戸市では、高校生の通学定期補助を令和4年9月から開始し、令和6年9月からは神戸市内の高校生が市内の高校に通う場合に全額補助するよう拡充する提案をしています。この措置は、市内の多様な高校教育環境を維持するとともに、所得水準や学校の種別を問わず、高校生等の幅広い世帯への経済的支援を目的としています。

一方で、大阪府においては高校無償化制度が新たに実施されることから、神戸市内の私立高校へ通う生徒数の減少が見込まれています。この影響で、市内高校教育の多様性や独自性が失われる可能性があります。子育て世代の流出により、市内の高校への志願者が減少し、教育水準が低下することが懸念されています。

立案に際しては、高校生の通学実態に関するアンケート調査や家計支出、学校教育費、交通費関連支出の調査結果を考慮し、多様な教育環境を守るためのインセンティブとして通学補助を拡充したものです。

Q (再質問) 大井としひろ委員

さきの代表質疑やこども家庭局の局別審査におきまして、市外高校通学者に対する支援については、今回の拡充の制度の運用状況を見ながらの検討課題とする旨の答弁がございました。

今回の高校生通学定期無償化の目的として、市内の多様な高等教育環境の維持と高校生等のいる幅広い世帯への経済的支援の2点が上げられていますが、市外に拡充することとなった場合、経済的支援に重きが置かれることで、市内の多様な高等教育環境の維持という、もう一方の目的との矛盾が生じ得るわけでございます。今後の検討の方向性について御見解をお伺いしたいと思います。

A 小原 副市長

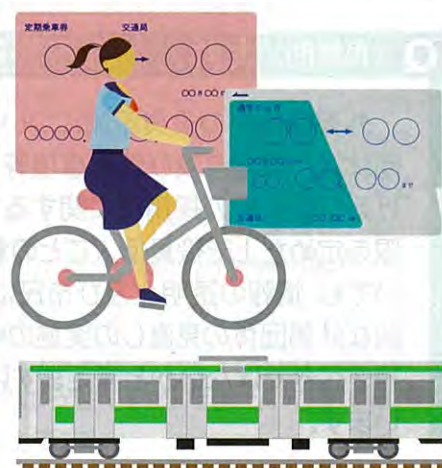
神戸市は、多様かつ豊富な教育環境を維持するため、市内高校への通学に一定のインセンティブとなるよう、無料化を実施しています。市外の高校についても対象を拡充するかどうかは検討課題ですが、大阪府内と兵庫県内で授業料に大きな差が生じることは、兵庫県全体の問題として議論されています。阪神間の自治体や教育関係者、兵庫県など幅広い関係者との議論を期待しています。

Q (再質問) 大井としひろ委員

補助額が居住地により変わることでありますけれども、税の公平性ということについてどのように考えておられるのか、御見解をお伺いしたいと思います。

A 小原 副市長

通学費は、居住地と通学する高校の所在地によって異なるものでございまして、一律に定額を給付するというのではなく、市内高校等に通学する場合は御家庭が御負担される通学費全額を補助する制度となっております。結果といたしまして、当然居住地や公共交通機関を使う、使わないなどにより補助額が変わることになります。

**要望 大井としひろ委員**

一方で高校生通学定期無償化は、質疑をしました内容に加えまして、子供の選択肢を狭め、兵庫県公立高等学校のうち神戸市から通学が可能な近隣自治体の高校に通う子供が対象にならないなど課題もあるのではないかと考えております。

我が会派としましては、今回の大阪の高校授業料の無償化により教

育無償化の流れが来たと考えております。権限を持つ兵庫県とともに教育無償化に向けて取組を進めていただくよう要望をいたしたいと思ひます。

3 外郭団体等の役員報酬について

Q 大井としひろ委員

さきの局別審査において、外郭団体等の役員報酬の公表について問うたところ、神戸市では、外郭団体の役員報酬について一律の上限設定を行っておらず、団体の事情を勘案し、団体ごとに役員の報酬を決定しているとの答弁がございました。例えば、株式会社では、定款に役員報酬の上限を定めていれば、株主総会決議を経ることなく取締役会だけで決定できると。反対に上限を定めていなければ株主総会決議が必要であります。神戸市の外郭団体においては、一律に役員報酬の上限設定を行っていないということであり、株式会社の形態を取っている場合、株主総会決議を経る必要があるとすれば、株主たる神戸市は、株主総会決議にて、役員報酬案に対して議決権行使ができることとなりますが、その決定過程を市民の皆さんは知ることできません。これでは、神戸市と外郭団体が密室で役員報酬を決定しているとも受け取られかねないわけであります。市民の税金が投じられており、株主である神戸市、ひいては市民も知っておくべき情報だと考えます。

市が出資または出捐する法人については、役員報酬の公表を行うべきではないかと考えますけれども、市長の御見解をお伺いしたいと思います。

A 今西 副市長

神戸市では、外郭団体の人材登用について、各団体の経営方針に基づいて適材適所の人材を登用する方針を採用しています。令和3年8月に外郭団体の抜本的な見直し方針を策定し、一律の基準であった外郭団体役員等報酬基準を廃止しました。現在は各団体が独立した判断で役員の報酬を決定しており、一定の上限設定は行っておりません。個人の報酬額については、個人情報保護法に基づいて適切に取り扱われています。市が出資・出捐する法人の役員報酬についても同様に考慮されています。

政令市の中で、大阪市が外郭団体の役員個人の報酬を開示している一方で、他の政令市では開示している自治体はないようです。株式会社などの法人における役員報酬の公表については、独立した経営主体として判断されるべきであり、市の出資・出捐をもって一律に公表することは検討されていないようです。

Q (再質問) 大井としひろ委員

外郭団体等の役員報酬については、大阪市においては、大阪市外郭団体等への関与及び管理事項等に関する条例や大阪市外郭団体における役職員等の採用等に関するガイドラインを策定し、役員報酬の上限を定めた上で役員個人ごとの報酬額を開示しております。本市においても、情報の透明化及び市民に対する説明責任の観点からも、全庁的な外郭団体の見直しの実施の中で、条例やガイドラインの制定を検討すべきではないかと考えますけれども、御見解をお伺いしたいと思います。

A 今西 副市長

神戸市では、大阪市のような条例やガイドラインは定めていませんが、市のOB職員が外郭団体などへの再就職に際して、透明性と信頼性を確保するため、神戸市退職者人材センターを設置しています。また、市OB職員の役員報酬は各団体ごとに決定されており、一律の上限設定はありません。個人の報酬額については秘匿性が高いため、条例やガイドラインの制定は行っておりませんが、団体のミッション実現

と自律的な経営に市が適切に関与することが重要です。今後も令和3年8月に示した外郭団体の抜本的な見直し方針に基づき外郭団体の見直しを進めていく予定です。

Q (再質問) 大井としひろ委員

再度質問させていただきますけれども、令和5年9月1日時点で、全外郭団体における65歳以上の役員数は181人、そのうち市OB職員は延べ18人。7月1日付の役員数は全体で483人、うち市OBが47人とお聞きしております。本市の外郭団体は30団体であるのに対し役員数が非常に多く、民間人材活用と採用の幅を狭めているように感じております。

兵庫県においては、OB職員が外郭団体に再就職した場合、65歳までの雇用と内規で定め、65歳以上の職員OBには退職要請を行うなどにより組織の硬直化等への対応を行っております。

一方、本市においては、年齢の雇用条件の規定はなく、65歳を超えてもなお外郭団体の直接雇用という形で長期在籍している職員が見受けられます。本市も新しいアイデアや経験を組織に取り入れやすくするためにも、兵庫県と同じように上限年齢を定めていくべきと考えますが、御見解をお伺いいたします。

A 今西 副市長

市のOB職員が外郭団体への再就職について、神戸市では退職者人材センターを通じて希望や求人情報を集約し、OB職員と外郭団体とのマッチングを行っています。雇用条件については上限年齢などは規定されていませんが、他の自治体では65歳までの上限年齢を設けている例もあります。一方で、OB職員の専門知識と経験を活用することは外郭団体にとって重要であり、年齢だけで判断するのではなく、各団体の状況を考慮しながら運営を進めていく必要があります。

要望 大井としひろ委員

各団体への出資及び出捐や毎年の補助等、外郭団体には多額の税金が投入されております。だからこそ、税金の使い道として適正に使われているかを判断するためにも、透明化を図ることが望ましいと考えます。そのことを要望とさせていただきます、よろしくお願ひをいたします。



4 中央卸売市場本場を活かした地域経済の活性化について

Q 大井としひろ委員

中央卸売市場の機能強化に向けて、卸売業者等の利用者ニーズを踏まえ再整備を進めております。

一方で、このたびの神戸市中央卸売市場本場再整備基本計画の変更により、概算事業費が120億円から205億円に、供用開始が令和6年度から令和9年度に変更されるなど、多額の予算と期間を費やして再整備が予定されておりますけれども、ネット社会と社会情勢の変化により求められる市場の機能の役割も変化しており、本場の再整備の中だけで完結するのではなく、本場を中心として周辺へ波及効果をもたらすことが期待されているのではないかと考えます。例えば、観光誘客など、これまでにない観点で地域経済の活性化や市民還元につなげていくべきと考えますけれども、御見解をお伺いいたします。

A 久元 市長

御指摘のとおりだと思います。卸売市場の再整備には多額の公費を投入しておりますので、最近の状況の変化によりまして、資材費やあるいは人件費の高騰で事業費が膨らんでいることにつきましては、しっかりと議会に対しまして説明をさせていただき、着実に進めさせていただければと思います。

その上で卸売市場の魅力をいかに発信をするのか、そして、市民の皆さんにも市場に来ていただく、神戸に来られる来街者の方々にも来ていただくというような取組を従来以上に行っていくことが必要です。そして、地域のにぎわいづくりに寄与するなど、この市場の存在が周りに波及していくというような視点がより一層重要になってきているのではないかと思います。これまでも小・中学校や地域団体、夏休みの親子を対象とした見学会、定期的な料理教室、模擬競りやマグロの解体実施などを通じて、魚食を普及させる魚河岸デーなど、年間を通じて実施をしております。年間で1万2,400人程度の方々に御来場をいただいております。非常に近接をしておりますイオンモール神戸南とは、市場の新鮮な食材を市場の近くで購入できる場として連携をしております。市場内の飲食店舗と併せて市場ブランドを生かした集客につながっております。周辺施設である県立兵庫津ミュージアム、こべっランドとも連携し、お互いのイベントの魅力アップを図り、地域への誘客につなげていく取組を今後さらに強化していきたいと存じます。

A 長田 教育長

児童・生徒の学習支援には、認知機能の向上が重要です。一部の自治体では認知機能トレーニングプログラム「コグトレ」を導入しており、これは記憶、言語理解、注意などの要素を強化するトレーニングです。

本市におきましては、これまでも学びにくさのある児童・生徒を含めまして、支援を必要とする児童・生徒の状況把握、あるいは支援の方法ということにつきまして、研修等を通じて教員が理解を深めてまいりました。例えば児童・生徒の学習や生活での困り感、書いた文字の誤りや特徴といったようなことなどから背景にある特性を把握をして、そしてその特性に応じた具体的な支援方法を学んで実践に生かすと、そういう研修も行っております。

児童・生徒の学習課題の取組状況や、また授業中の様子というものを丁寧に把握しながら、1人1人の状況に応じた学習支援、こういうことに力を入れて取り組んできたところでございます。

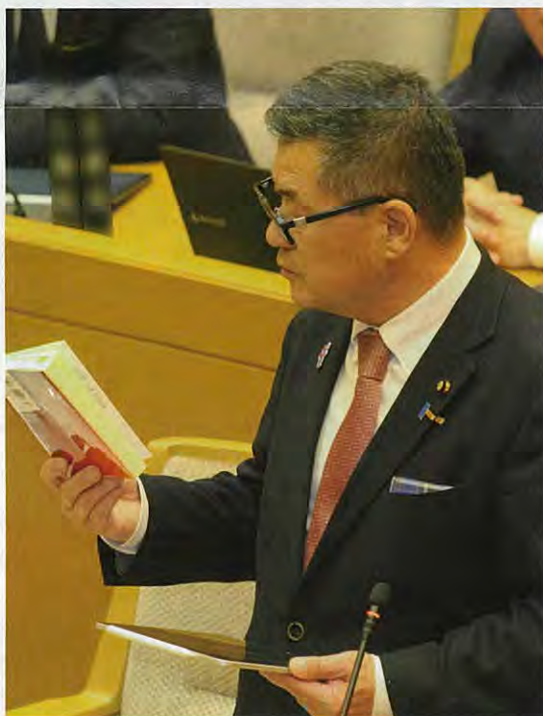
この他の自治体の取組につきましても情報を収集して、そしてこの認知機能の向上ということについて幅広く研究を進めていきたいというふうに考えております。



5 境界知能にある生徒たちの理解促進と対策について

Q 大井としひろ委員

最近、IQが70以上85未満の位置にある知的障害と平均の狭間にある境界知能に位置する人たちの存在が注目されております。境界知能に当たる人は、日本人の約14%に当たる1,700万人が該当し、学校現場においては35人クラスだと約5人いるとされております。支援が必要な知的障害者でもないことから障害とは診断されず支援に結びついていない。そもそも、一見して障害があると分かりづらいことや、境界知能という存在への認知度の低さから、学校や家庭で見落とされてしまうことが多いとされております。勉強が苦手、コミュニケーションが苦手、運動が苦手、忘れ物をしがちといったことが、本人の努力不足ということで片づけられてしまい、本人の生きづらさにも結びつき、不登校に陥ったり、社会に出てからもその生きづらさが続いてしまっているということでもあります。



さきの局別審査において、境界知能への対応として、学校現場における教科学習の土台となる記憶、言語理解、注意、知覚、推論、判断といった5つの認知機能を向上させるのが目的であり、ゲーム感覚で楽しみながら取り組むことができる認知機能向上トレーニングの導入について伺ったところ、教育効果や取組状況などについて通常学級で導入している自治体の情報なども収集して十分に研究を行ってほしいとの答弁がございました。学校現場では日々問題が生じていることから喫緊の課題であり、アセスメントとしての役割も期待できることから、早期に導入を行うべきでないか、改めて御見解をお願いいたします。

Q (再質問) 大井としひろ委員

今回のコグトレへの質問するに当たりまして、教育委員会の予算特別委員会で、岩谷議員が質問しました。岩谷委員からこういう「境界知能の子どもたち」という宮口幸治先生の本を3日ほど前にお借りして、3日間で全部読み通させていただいたんですけど、大変難しい。この辺のところっていうのは大変微妙なところもあるのかなと思いがら、こういうコグトレっていうんですかね、こういうトレーニングっていうのは、よくよく読ませていただくとそういう境界知能の子供たちだけでなく、小学生の子供たち全員がいろんなところで5分か10分程度でできるようなトレーニングのようなので、ぜひそういうのも取り入れていただいて、子供たちの集中力を高めるためのそういうトレーニングもいいのかとか読みながら思っておりました。

一応まとめさせていただきますけれども、立命館大学の宮口教授が開発されました認知機能向上プログラムであるコグトレの活用によりまして、生徒にとって自身の得意・不得意を認知することで、得意な分野を生かし、苦手な分野を克服する手立てを学ぶことにつながります。また、教員にとってもメリットがあり、子供の実態が見え、支援の方法が明確になるなど、既に取り入れている自治体も複数あると聞いております。授業開始前5分か10分程度の教室で使えるコグトレを実施されており、様々な効果が出ているとのことでもございました。試験的でも結構なんで、早期に取り入れていただきたいということを要望させていただいて、私の質問は終わりたいんですけども、最後に、長田教育長におかれましては、2018年から6年間、神戸の教育の難しいかじ取りをされてこられました。誠に御疲れさまでございました。お礼を申し上げて、また大所高所から、いろんな意味で神戸の教育に御助言をお願いいたしまして、私の質疑を終わらせていただきたいと思います。どうもありがとうございました。以上です。



質疑の様子を映像で
ご覧ください

YouTube

大井としひろチャンネル

検索





日本維新の会

要望14件を付して

令和6年度予算を

承認
しました!

【承認理由】新年度予算では我が会派が予算要望した、都市の成長、子育て・教育、高齢者・障害者福祉や健康に関する多くの項目に予算がつきました。また、持続可能な自治体経営、住み良い安全・安心のまち創りなどの期待する予算となったため令和6年度予算を承認いたしました。昨年末、神戸市は、働く女性向けウェブメディア「日経×woman(クロスウーマン)」と日本経済新聞社の調査「共働きで子育てしやすい街ランキング」では、**全国で4位、関西でトップ**となりました。今後も市民目線に立った市政改革提案を進めて行きます。

会派からの要望に予算がつきました(一部抜粋)

① 路上喫煙対策について

ばい捨て防止重点区域を中心とした啓発活動及び巡回清掃の拡充
路上喫煙禁止区域における屋内型喫煙所整備補助の創設

② 障害者施策、困窮家庭の学習支援の充実について

発達障害者の支援体制の強化拡充
経済的事情を抱える家庭学習の支援拡充(中学生オンライン学習)

③ 児童虐待防止対策について

こども家庭センターの体制強化・児童家庭支援センターの増設

④ 子育て支援について

生後1か月時に受信する健康診断の費用を助成

⑤ 神戸空港国際化について

空港からのアクセス強化、新ターミナル整備などの空港機能強化

⑥ 介護予防・フレイル対策について

フレイル状態にある方に対して改善プログラムを提供する箇所数拡大

⑦ クリーンステーション管理支援について

鳥獣被害対策の強化(カラス対策ネットボックスのモデル設置)
外国人向けごみ出しルール啓発強化など排出ルールの徹底

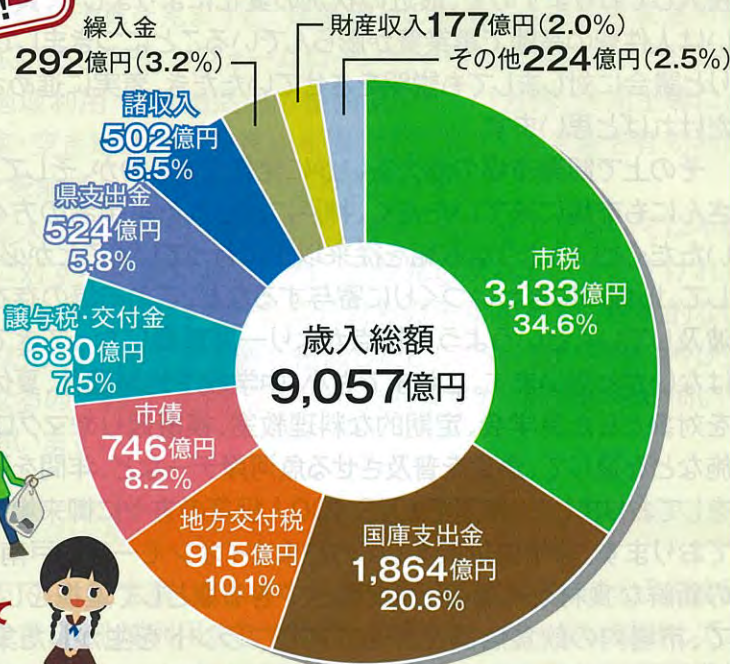
⑧ 駅周辺のリノベーションについて

三宮駅を始めJR駅周辺空間の駐輪場整備等、ハード・ソフトの再整備
地下鉄駅前、神鉄沿線の地域の特性を活かした再整備

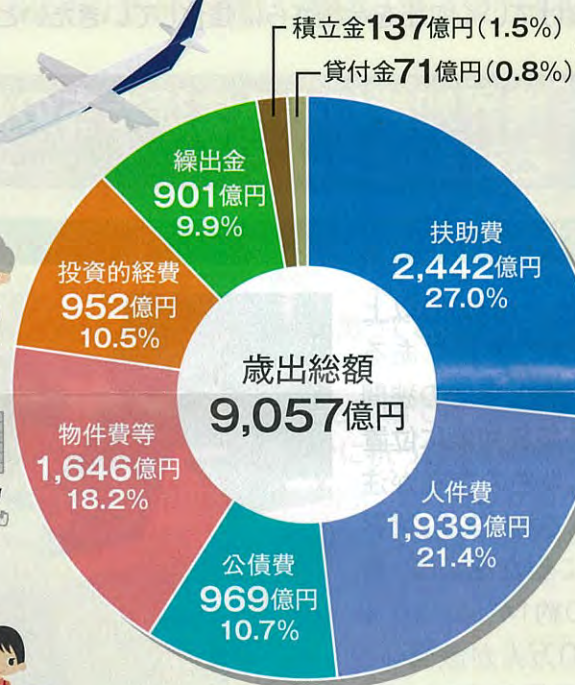
⑨ 大阪・関西万博について

空飛ぶクルマの社会実装に向けた民間企業の取り組みの支援
万博会場での催事実施に向けた企画及び機運醸成

一般会計



款別歳入予算の構成比



性質別歳出予算の構成比

神戸市会議員の期末手当アップ

維新は反対!!

令和5年12月6日11月議会において自民党・公明党・こうべ未来より上程されました、議員提出議案第8号「神戸市会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例」について日本維新の会は反対を行いました。

交渉会派	日本維新	自民	公明	こうべ未来	共産
賛否	×反対	○	○	○	×

※所属議員5名以上の交渉会派のみ記載



神戸市政についてのご意見・ご要望をお聞かせ下さい。

神戸市会議員

大井としひろ

事務所 〒654-0012 神戸市須磨区飛松町2丁目1番20号フォールヴィラ板宿101号室
Tel 080-5339-3001 Fax 078-743-6155

■メールアドレス ooi@kobe-001.com

■お問い合わせ http://blog.goo.ne.jp/kobeooi

■X(旧Twitter) KOBE_SUMA_OOI

■公式ホームページ http://kobe-001.com

■YouTube 大井としひろチャンネル

大井としひろ

検索

